

## 平成28年度第1回江田島市総合教育会議 議事録

平成28年7月4日(月)、江田島市役所2階会議室において、平成28年度第1回江田島市総合教育会議を開催しました。

### 1 開会及び閉会に関する事項

開会 午後1時30分

閉会 午後2時10分

### 2 出席者

#### (1) 構成員

市長	田中 達美
教育委員会委員長	三島 雅司
教育委員会委員長職務代理者	樋上 美由紀
教育委員会委員	柳川 政憲
教育委員会委員	今井 絵里子
教育委員会教育長	塚田 秀也

#### (2) 関係者(教育委員会事務局)

教育次長	小栗 賢
学校教育課長	畠藤 邦子
生涯学習課長	仁井 雄一
学校給食共同調理場総括場長	森脇 正明(欠席)
江田島図書館長兼能美図書館長	木場 久仁子

#### (3) 総合教育会議事務局

総務部長	山本 修司
総務課長	山井 法男
総務課 行政係 主任	山崎 充宏

### 3 傍聴人

1名

### 4 議事日程

- (1) 議事録に署名する者の決定について
- (2) 報告第1号 平成27年度江田島市教育委員会事務状況の点検・評価について
- (3) 協議第1号 平成28年度江田島市教育委員会経営計画について
- (4) その他

## 5 議事の概要

### ○ 山井総務課長

定刻になりましたので、ただ今から、「平成28年度第1回江田島市総合教育会議」を開催します。

現在、出席されている構成員は、6名でございます。

本日の議事日程は、あらかじめ、お手元に配付したとおりでございます。

なお、本日の会議には、構成員の皆様にご出席いただいたほか、教育委員会事務局職員4名、総合教育会議事務局職員3名が出席しています。出席者の紹介は、お手元にお配りしています、「資料2」に代えさせていただきます。

なお、ここが1名空いていますけれども、森脇学校給食共同調理場総括場長は、別の公務がありまして、そちらが終わり次第、間に合えば、こちらに参加していただく予定としています。

それでは、開会のあいさつを、田中市長が行います。田中市長、お願いします。

### ○ 田中市長

皆様、こんにちは。今日は、大変お忙しいところ、お集まりいただきまして、ありがとうございます。

この会議は、昨年度から施行されたものであり、今年度最初の開催となりました。

本日の会議では、「平成27年度江田島市教育委員会事務状況の点検・評価」に係る報告を受け、この内容を分析したことに基づく「平成28年度江田島市教育委員会経営計画」について協議したいと思います。

本市の教育について協議する貴重な場でありますので、御遠慮なく意見を出していただきたいと思っております。

どうぞよろしくお願いいたします。

### ○ 山井総務課長

ありがとうございました。

ここからは、この会議の議長である、田中市長に進行をお願いしたいと思います。田中市長、お願いします。

### ○ 田中市長

それでは、私の方で会議を進めさせていただきます。

この会議は、公開となっております。本日の協議内容を踏まえまして、江田島市総合教育会議運営規程第16条の規定により、申込みのあった1人の方に傍聴を許可しております。

それでは、議事に入らせていただきます。

まず、「(1) 議事録に署名する者の決定について」でございます。

江田島市総合教育会議運営規程第14条第2項の規定に基づきまして、私とともに議事録に署名する者を決定いたします。このことについて、平成27年7月21日に開催されました、平成27年度第1回江田島市総合教育会議において申し合わせたとおり、「資料2」の名簿の構成員の下段からの順番とします。よって、今回は、柳川教育委員会委員をお願いいたします。

なお、江田島市総合教育会議運営規程第14条第1項の規定に基づきまして、議事録を作成する者には、総務課 山崎主任を指名いたします。

それでは、次の議事に入らせていただきます。

「(2) 報告第1号 平成27年度江田島市教育委員会事務状況の点検・評価について」でございます。

内容につきましては、塚田教育委員会教育長に説明を求めます。よろしく願いいたします。

○ 塚田教育委員会教育長

「平成27年度江田島市教育委員会事務状況の点検・評価について」でございます。

「資料4 (別冊)」がお手元にあると思いますけれども、1ページを見ていただきたいと思っております。

教育委員会の点検・評価制度の概要となっておりますけれども、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条によって、平成20年4月から、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表すること、これが義務付けられました。

今回は、この平成27年度のものにつきまして、まずは、報告をさせていただきます。

それでは、詳細については、学校教育課長、生涯学習課長及び江田島図書館長をして説明申し上げます。よろしく願いいたします。

○ 畠藤学校教育課長

それでは、平成27年度に取り組みました内容について、簡単に説明をさせていただきます。

「資料4 (別冊)」の17ページを御覧ください。

こちらが、平成27年度江田島市教育委員会経営計画でございます。この経営計画につきましては、平成26年度から平成28年度までの3か年の計画としておりまして、平成27年度は、2年目の取組ということでございました。「Ⅰ ミッション」、「Ⅱ ビジョン」を設定し、「Ⅲ 平成26年度の現状分析」を行っております。

続いて、18ページを御覧ください。

先程の「Ⅲ 現状分析」をもとに、「Ⅳ 目標及び取組」を策定し、取組を行っております。学校教育の関係の目標が4点、生涯学習の関係の目標が4点ございます。それぞれの目標を達成すべく取組を行った結果について、これから1つずつ説明をさせていただきます。

それでは、2ページを御覧ください。

学校教育課の関係で、4点説明をさせていただきます。

中期経営目標は、教職員の服務規律の厳正確保を図る、短期経営目標は、教職員による不祥事を0にするということです。

「1 短期経営目標の具体」といたしましては、平成27年度の懲戒処分件数を0にするということございました。

「2 取組・方策」としては、大きく3つございます。1つ目は、全ての主催研修において、「服務規律の確保」に関する内容の講話等を行いました。実施した30回の詳細については、次のページの3ページにございます。様々な主催研修におきまして、服務規律の確保に関する内容を、それぞれの研修で行っております。2ページにお戻りいただきまして、2つ目といたしまし

ては、5月を「不祥事根絶強化月間」としまして、重点的な取組を行いました。取り組みました内容については、①、②、③でお示ししております。3つ目でございますが、全児童生徒に「体罰」、「セクシュアル・ハラスメント」のアンケートを実施したということでございます。こちらについては、実施率は100%で、体罰、セクシュアル・ハラスメントに該当する回答はございませんでした。

「3 評価」といたしましては、評価指標を懲戒処分件数といたしました。実績値、目標値、総合評価としても、0件ということございました。取組・方策を計画的に実施でき、目標を達成することができました。

続いて、4ページを御覧ください。

取り組んだことの2点目でございます。

中期経営目標は、児童生徒の学力の向上を図る、短期経営目標は、基礎的・基本的な知識・技能を定着させ、思考力・判断力・表現力を向上させるということございました。

「1 短期経営目標の具体」は、広島県「基礎・基本」定着状況調査において、全ての教科で県の平均通過率を5ポイント以上上回るということございました。

「2 取組・方策」といたしましては、大きく5つの取組を行いました。1つ目は、学校訪問時に、「学力向上チェックリスト」を基に、取組状況について指導助言を行いました。その他につきましては、4つ目、先進校、横浜国立大学教育人間科学部附属横浜中学校と横浜市立大岡小学校を、各小中学校の教諭1名が視察を行いました。報告書を作成し、各学校で活用いたしました。そして、5つ目、平成27年度広島県学力調査報告書を用いて、校長会、教頭・事務長会及び教務主任研修で授業改善の指導を行いました。

「3 評価」としましては、評価指標を広島県「基礎・基本」定着状況調査の平均通過率といたしまして、全ての教科で県の平均通過率を5ポイント以上上回るといたしましたけれども、総合評価としましては、小学校、中学校ともに全ての教科で目標を達成することはできておりません。特に、中学校につきましては、国語、理科、英語について県平均通過率を下回る結果となっております。

「4 改善策」としましては、3つ挙げております。

続いて、5ページをお開きください。

取組の3点目でございます。

中期経営目標は、児童生徒の豊かな心を育成する、短期経営目標は、①暴力行為の発生件数を減少させる、②自己効力感を向上させるという2つです。

「1 短期経営目標の具体」は、①中学校における暴力行為の1,000人当たりの発生件数を16.0件とする、②意識調査「自分にはよいところがあります」の問いに対する肯定的回答の割合を小学校5年生で88%、中学校2年生で74%にするいたしました。

「2 取組・方策」といたしましては、大きくは8つの取組を行いました。その中では、3つ目でございますとおり、9月を「いじめ撲滅月間」としまして、重点的な取組を行いました。さらに挙げておりますとおり、①いじめ撲滅に向けた児童会・生徒会を中心とした児童生徒の主体的な活動を実施しました。そして、②として、いじめ防止対策推進法に基づく取組でございます。その他には、④江田島市PTA連合会が作成するネット利用に関するリーフレット及びカードを配布し、家庭におけるスマートフォン等使用のルール作りを呼びかけたことがございます。

それらの取組等を行いまして、「3 評価」といたしまして、評価指標は、先ほど説明したとおりでございますが、総合評価としましては、①は、目標値の範囲内でございます。②は、中学校では目標を上回りましたが、小学校では目標値を下回ったということでございます。

「4 改善策」といたしましては、2つ挙げております。

続きまして、6ページを御覧ください。

取組の4点目でございます。

中期経営目標は、児童生徒の体力の向上を図る、短期経営目標は、体力・運動能力を向上させるとしております。

「1 短期経営目標の具体」は、体力・運動能力調査の全国平均以上の種目数割合を70.0%にするとしております。

「2 取組・方策」といたしましては、6つ挙げております。2つ目ですが、小学校に対して、1校1競技について指導し、各校において取組を実施しました。各学校でそれぞれ1つの競技を決め、取組を行っております。3つ目では、中学校に対する取組でございます。補助金事業で公式大会以外の練習試合についても補助をいたしました。その他には、6つ目にありますとおり、県立広島大学地域戦略協働プロジェクトというものがございまして、こちらを活用し、体力・運動能力の経年変化について分析を行っていただいたというところでございます。

「3 評価」といたしましては、評価指標を体力・運動能力調査の全国平均以上の種目数割合といたしました。総合評価としまして、75.7%となり、目標を達成することができたということでございます。

「4 改善策」といたしましては、1つ挙げております。

学校教育課分は、以上でございます。

#### ○ 仁井生涯学習課長

続きまして、生涯学習課分について、御説明申し上げます。

「資料4（別冊）」の18ページの生涯学習に係る4点のうち、「公民館講座等の充実を図る」、「市美術展の充実を図る」、「歴史資料館の活性化を図る」の3点について、私から説明させていただき、「図書館の充実を図る」については、木場図書館長から説明させていただこうと思いません。

まず、「公民館講座等の充実を図る」から御説明させていただきます。

7ページをお開きください。

中期経営目標は、公民館講座等の充実を図る、短期経営目標は、公民館講座の若年層の利用者数割合の増加を図るといたしました。

「1 短期経営目標の具体」といたしまして、公民館講座の若年層、具体的には、50歳未満の利用者数割合の増加を図るといたしまして、目標値を50歳未満の若年層の利用者数割合48%といたしました。

「2 取組・方策」といたしましては、4つ示しています。全ての講座でアンケートを実施した。若年層ニーズにあった講座等を実施した。代表的なものとして、御覧のとおり一覧表の中にまとめております。これは、74講座から抜粋したものですので、これで全てではありません。次に、毎月「広報えたじま」の行事案内欄に講座案内を掲載し、周知を図った。最後に、公民館まつりにおいて、講座等のPRを行ったということを取組・方策としております。

「3 評価」といたしましては、評価指標は若年層利用者数割合、目標値は48%でしたが、実績といたしましては44%で、残念ながら目標を達成できておりません。

「4 改善策」といたしまして、3つほど挙げております。各公民館の連携強化による情報共有を図り、若年層ニーズにあった講座を企画する、広報のPR回数を増やす、市PTA連合会に講座を周知し、参加を呼びかけるの3つを挙げております。

続いて、8ページをお開きください。

中期経営目標は、市美術展の充実を図る、短期経営目標は、市美術展の来場者数の増加を図るといたしました。

「1 短期経営目標の具体」といたしまして、市美術展の来場者数を780人まで増加を図ることになっております。

「2 取組・方策」といたしまして、10月31日から11月3日までの実施に向けて、開催内容を検討するとともに、次のことを行っております。市文化協会作品発表会と同時に開催し、スタンプラリー等を協力して行いました。ミニコンサートを実施いたしました。審査員作品の特別展示を実施いたしました。学校見学会を実施し、実行委員による児童への作品解説を行いました。巡回展を行いました。近隣施設の大柿地区歴史資料館において、「六角紫水講座」を同時開催しております。最後に、広報等でPRし、周知を図っております。

以上の取組を行いました結果、評価指標の来場者数の目標値が780人であったところ、最終的には945人のお客様の御来場がありました。

目標値を達成したということで、「4 改善策」としては、挙げておりません。

続いて、9ページをお開きください。

中期経営目標は、歴史資料館の活性化を図る、短期経営目標は、学びの館、大柿地区歴史資料館の来場者数の増加を図るということを目指しております。

「1 短期経営目標の具体」といたしまして学びの館、大柿地区歴史資料館の来場者数をそれぞれ、学びの館が7,100人、大柿地区歴史資料館が650人を目標そうではないかということでした。

「2 取組・方策」といたしましては、ものづくり教室の充実を図りました。平成26年度が6回だったところ、平成27年度は9回行っています。次に、展示資料の相互貸出、学びの館と大柿地区歴史資料館との間に相互貸出を行っております。大柿地区歴史資料館において、「六角紫水講座」を先ほどの市美術展と同時に開催しております。最後に、学びの館の「ものづくり教室」を広報等でPRし、周知を図っております。

「3 評価」といたしましては、評価指標を来場者数と定め、目標値を学びの館7,100人、大柿地区歴史資料館650人としたところ、最終的には、学びの館に8,486人、大柿地区歴史資料館に692人の御来場があり、目標を達成することができました。

目標値を達成したということで、「4 改善策」としては、特にございません。

以上で、生涯学習課分の説明を終わります。

○ 木場江田島図書館長

続きまして、図書館分の説明をいたします。

「資料4（別冊）」の10ページを御覧ください。

中期経営目標は、図書館の充実を図る、短期経営目標は、図書館年間貸出冊数の増加を図ると

いうことでした。

「1 短期経営目標の具体」は、図書館年間貸出冊数を目標の108,000冊に達成するということでした。

「2 取組・方策」といたしましては、7つの取組を行いました。最初に、2館1室合同の「本でめぐる江田島しましまスタンプラリー」を7月10日から9月30日まで実施しました。次に、ミニ図書館の開催場所を変更しました。そして、毎月の「広報えたじま」の図書館だより欄に、ミニ図書館の開催日時欄を設け、周知を図りました。ミニ図書館の実績は、右の表のとおりです。図書館だよりを市内各小中学校、保育園、公民館、港ターミナル、子育て支援センター等に配布し、周知を図りました。各館・室に他館・室のおすすめの本展示コーナーを設け、利用促進を図りました。行事案内を市内各小中学校、保育園、子育て支援センターに配布又は掲示し、周知を図りました。次に、子ども読書活動推進計画に基づき、江田島図書館と能美図書館において、読み聞かせなどをテーマとした講座、親の力を学びあう学習プログラムを実施しました。最後に、希望者に読書預金通帳を243冊配布しました。

次に、「3 評価」といたしましては、評価指標を年間貸出冊数とし、平成26年度の実績値105,629冊で、目標値は108,000冊に対しまして、総合評価として年間貸出冊数110,572冊で、目標を達成することができました。

図書館分は、以上です。

#### ○ 畠藤学校教育課長

まとめといたしまして、最後に、「資料4（別冊）」の11ページを御覧ください。

外部評価委員から、それぞれの目標に対して、御意見をいただいたというところがございます。1点目から8点目までそれぞれ意見をいただいておりますが、その内容につきましては、本日は、割愛させていただきます。

13ページを御覧ください。総合評価ということで、最後に意見をいただいております。読ませさせていただきます。

今回、短期経営目標に基づく8事業に対して意見を付した。

教育委員会が重点的に取り組まれている施策が確実に展開されていたことを高く評価したい。

具体的には、各事業の目標を設定し、より分かりやすい方策が示されていたこと、事業の実施を着実に推進してきたこと、などである。その結果、多くの項目で目標値を上回ることができ、大きな成果が随所に表れている。これらは、教育委員会事務局の職員一人一人が前向きな姿勢で取り組んだことによるものと読み取れる。

さらに、各学校においては、校長を中心とした組織的な体制を構築し、円滑な運営が行われ、日々教職員が頑張っている姿が伝わってきた。こうしたことから、教育委員会の指導が各学校へも関係部署へも浸透していることが検証できる。

要望としては、数値目標の設定・結果のみでなく、機会があれば、その過程・経緯を関係機関や各種研修会等で話題にしてほしいと願っている。

また、先進的な取組をしているので、各部署へ積極的に情報発信してほしいと思う。

今後のさらなる充実を期待する。

ということでございます。

以上で、「平成27年度江田島市教育委員会事務状況の点検・評価について」の説明を終わり

ます。

○ 田中市長

ありがとうございました。

「(2) 報告第1号 平成27年度江田島市教育委員会事務状況の点検・評価について」の報告を受けました。

それでは、続きまして、次の議事に入らせていただきます。

「(3) 協議第1号 平成28年度江田島市教育委員会経営計画について」でございます。

内容につきましては、塚田教育委員会教育長に説明を求めます。よろしくお願いいたします。

○ 塚田教育委員会教育長

先ほどは、平成27年度の結果を報告させていただきました。

教育委員会としては、平成26年度、平成27年度、平成28年度と、3年スパンで重点的に取り組んでいくということで進めております。

先ほどの平成27年度の結果を見てお分かりのように、目標を達成しているところもあれば、達成できていないところもありました。目標を達成しているところについては、さらに伸ばしていく、達成できていないところは、具体的な取組・方策、そこをさらに知恵を絞って、そこを加えて頑張っていこうということで、平成28年度の経営計画を作成しております。

詳細については、学校教育課長、生涯学習課長及び江田島図書館長をして説明申し上げます。よろしくお願いいたします。

○ 畠藤学校教育課長

それでは、「資料5」の6ページをお開きください。

ただ今、教育長から説明がございましたとおり、こちらが、平成28年度江田島市教育委員会経営計画でございます。3か年計画の3年目ということになります。

「Ⅰ ミッション」、「Ⅱ ビジョン」につきましては、これまでと同様としております。

「Ⅲ 現状分析」につきましては、先ほど説明をさせていただきましたとおりでございます。

「Ⅳ 目標及び取組」については、7ページでございます。中期経営目標と短期経営目標につきましては、平成27年度と変更はございません。具体的な取組・方策につきましては、変更をしております。

それでは、一覧表になっております、8ページの平成28年度自己評価表をお開きください。

こちらを用いまして、説明をさせていただきます。まずは、学校教育課分について、説明をいたします。

1点目でございます。

中期経営目標は、教職員の服務規律の厳正確保を図る、短期経営目標は、教職員による不祥事を0にするということでございます。

評価項目といたしましては、これまでと同様としております。

評価指標も同様で、懲戒処分件数としております。平成27年度の実績値は0件、平成28年度の目標値も0件としております。

続いて、2点目でございます。



中期経営目標は、児童生徒の学力の向上を図る、短期経営目標は、基礎的・基本的な知識・技能を定着させ、思考力・判断力・表現力を向上させるということでございます。

評価項目といたしましては、1つ目は、「学びの変革」推進協議会を設置し、取組を進める。2つ目は、これまでどおりでございます。3つ目は、ICT活用事業、外国語指導事業を実施する。また、各事業に市町の挑戦加配を配置する。そして、4つ目は、学力向上及びICT活用に関する先進校を視察するとしております。

評価指標につきましては、広島県「基礎・基本」定着状況調査の平均通過率としまして、目標値を全ての教科で県平均を5ポイント以上上回るとしております。

3点目でございます。

中期経営目標は、児童生徒の豊かな心を育成する、短期経営目標は、①暴力行為の発生件数を減少させる、②自己効力感を向上させるという2つでございます。

評価項目としましては、1つ目は、9月を「いじめ撲滅月間」とし、重点的な取組を行う。これは、昨年度と同様でございます。2つ目は、「いじめ」のアンケートを毎学期実施する。これも、昨年度と同様でございます。3つ目は、生徒指導自主研究グループで積極的生徒指導について研究し、その成果を普及する。4つ目は、全校で児童生徒を対象とした情報モラルに関するネットトラブル講演会を実施する。5つ目は、ふるさと実感事業を実施するとしております。

評価指標は、これまでと同様でございます。目標値につきましては、1,000人当たりの暴力行為の発生件数を11.5件としております。こちらにつきましては、1,000人当たりに直してあります。実数でいいますと、5件ということでございます。

それでは、4点目です。

中期経営目標は、児童生徒の体力の向上を図る、短期経営目標は、体力・運動能力を向上させるとしております。

評価項目といたしましては、先ほど申し上げました、県立広島大学地域戦略協働プロジェクトにおける体力・運動能力調査の分析等をもとに、学校訪問等で具体的な指導を行う。2つ目、3つ目につきましては、これまでと同様でございます。

評価指標は、体力・運動能力調査の全国平均以上の種目数割合で、目標値を77.0%としてあります。

以上で、学校教育課分の説明を終わります。

#### ○ 仁井生涯学習課長

引き続き、生涯学習課分について、御説明申し上げます。

「資料5」の7ページと「資料4（別冊）」の19ページを御覧いただきながら、御説明させていただきますので、よろしくお願いいたします。

まず、「資料4（別冊）」の19ページ、一覧表になっているものが、平成27年度の自己評価表でございます。

その生涯学習課該当分の1番上のもの、「公民館講座等の充実を図る」という中期経営目標は、平成27年度は残念ながら目標値の48パーセントを下回り、44%の実績になりました。

これに対する改善策といたしまして、各館の連携強化による情報共有を図り、若年層ニーズにあった講座を企画するということを掲げさせていただいております。

「資料5」の7ページを御覧ください。

これが、平成28年度の具体的な取組・方策でございます。まず、全ての講座のアンケートを実施する。次に、ここを少し変えているのですが、「各館の連携強化による情報共有を図り」という内容を追加し、若年層ニーズにあった講座を充実させるというふうにさせていただきました。これは、各館で似たような講座がないように情報共有しながら、考えていくというものです。次の項目の、公民館まつりにおいて講座等のPRを行うというのは、昨年度までと同じですが、その次に、市PTA連合会に講座を周知し、参加を呼びかけるという項目を追加しております。これは、市のPTA連合会にお子様と一緒に御参加いただければ、若年層の方に対する講座の周知を図れるのではないかとということで追加したものでございます。次の項目の、広報等でPRし、周知を図るというものは、昨年度と変わっておりません。

次の2点、「市美術展の充実を図る」、「歴史資料館の活性化を図る」につきましては、平成27年度の目標値をそれぞれ達成しておりますので、昨年度とほとんど変わらない内容で具体的な取組・方策を掲げております。

以上で、生涯学習課分の説明を終わります。

○ 木場江田島図書館長

続きまして、図書館分について、説明をいたします。

中期経営目標は、図書館の充実を図る、短期経営目標は、図書館年間貸出冊数の増加を図るです。

評価項目といたしましては、これまでと同様ですが、最後の、読書預金通帳を配布するを増やしております。

評価指標も同様で、年間貸出冊数としております。平成27年度の実績値は、110,572冊でした。それに対しまして、平成28年度の目標値は、113,000冊としております。

図書館分は、以上です。

○ 田中市長

ありがとうございました。

「(3) 協議第1号 平成28年度江田島市教育委員会経営計画について」の説明を受けましたけれども、これにつきまして、質問や御意見はございませんでしょうか。

○ 三島教育委員会委員長

この件につきましては、前回の教育委員会会議でも議題としておりまして、内容については、検討させていただいておりますので、この場で了解を得ることはございません。

○ 田中市長

他に御意見はありませんか。

○ 田中市長

それでは、他に御意見がないようですので、以上で、次の議事に入らせていただきたいと思います。

「(4) その他」についてでございます。

協議又は調整しておくべきことがありましたら、お願いいたします。せっかくの機会でございますので、御遠慮なく発言していただきたいと思ひます。

○ 田中市長

それでは、ないようでございますので、本日の会議を終了したいと思ひます。皆様、大変ありがとうございました。それでは、司会を事務局に返します。

○ 山井総務課長

皆様、本日は、ありがとうございました。

以上をもちまして、「平成28年度第1回江田島市総合教育会議」を終わらせていただきます。ありがとうございました。